

### 経営体の概要

- ・所在地：高知県長岡郡本山町
- ・経営体名：  
本山町特産品ブランド化推進協議会(36戸)
- ・栽培作物・作付面積：  
水稲・31ha(ブランド米の作付面積)
- ・ブランド名：『土佐天空の郷』

### 導入技術

- ・水田センサ[ベジタリア(株)]
- ・アグリノート[ウォーターセル(株)]

### 導入経緯

- 『土佐天空の郷』の知名度は、H22、28年の「お米日本一コンテストinしずおか」での特別最高金賞の受賞を機に全国区に。
- 高齢化等による農業生産の縮小を抑制するため、『土佐天空の郷』の生産拡大、所得向上による地域の活性化を推進。
- 一方で、地域ブランド米の取組が全国各地で活発となり、ブランド力・信頼性の維持・向上には、消費者ニーズに合致した食味・品質の高位安定化が重要に。
- しかしながら、食味・品質には生産者間差・ほ場間差が存在。
- そこで、地域ブランド米の食味・品質の高位安定化を図るため、総務省のH29年度「IoT実装推進事業」を活用し、水田センサ100台(うち気象計付10台)と栽培記録管理システム「アグリノート」を導入。

### 取組の特徴・効果

- 水田センサの導入により、水管理の見回り軽減、ほ場内の微気象情報のリアルタイム把握とデータ蓄積が可能となった。
- 栽培記録システム「アグリノート」を協議会の事務局へ設置。現在、ブランド米作付ほ場31haを含む約40haのほ場データを入力中。高齢化を背景とした担い手農家への農地集積(作業委託)によるほ場管理の煩雑化・複雑化に対応。
- 今後は、食味・品質の高位安定化に向け、蓄積されたデータ解析を支援する予定。

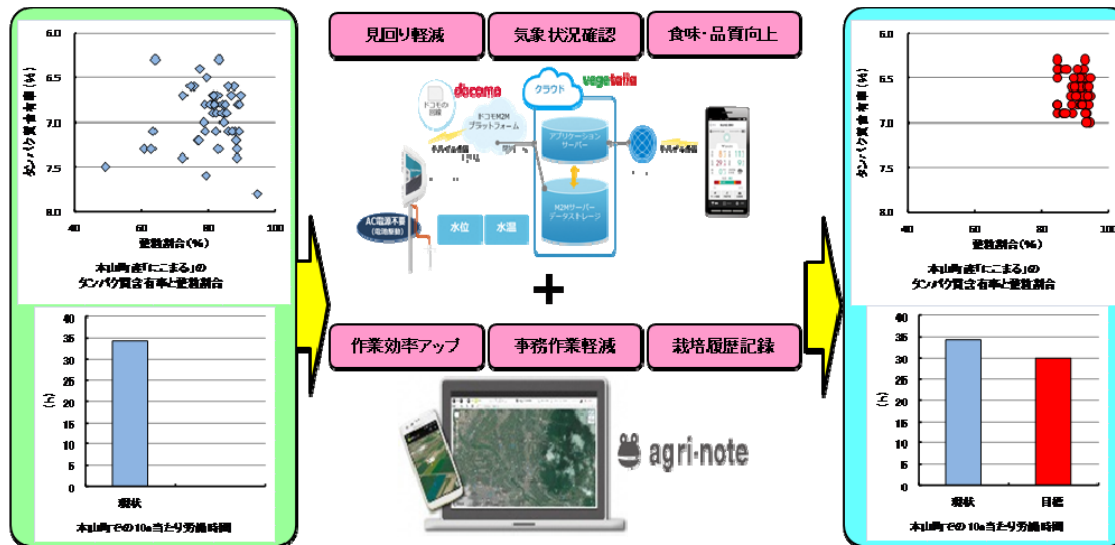


図 取組イメージ